



イノベーションで先へ行く!走れ!未来へ  
**ON THE RUN!**

エラストマーで新事業の領域へ。  
そこは時代の少し先にあります。

●医療機器・ヘルスケア機器 ●電子資材 ●新ソリューション

2021年3月期第2四半期 決算概要

2020年11月11日

バンドー化学株式会社

I . 2021年3月期第2四半期 決算概要

II . 2021年3月期 業績予想

---

# I . 2021年3月期第2四半期 決算概要

# 2021年3月期第2四半期 決算概要

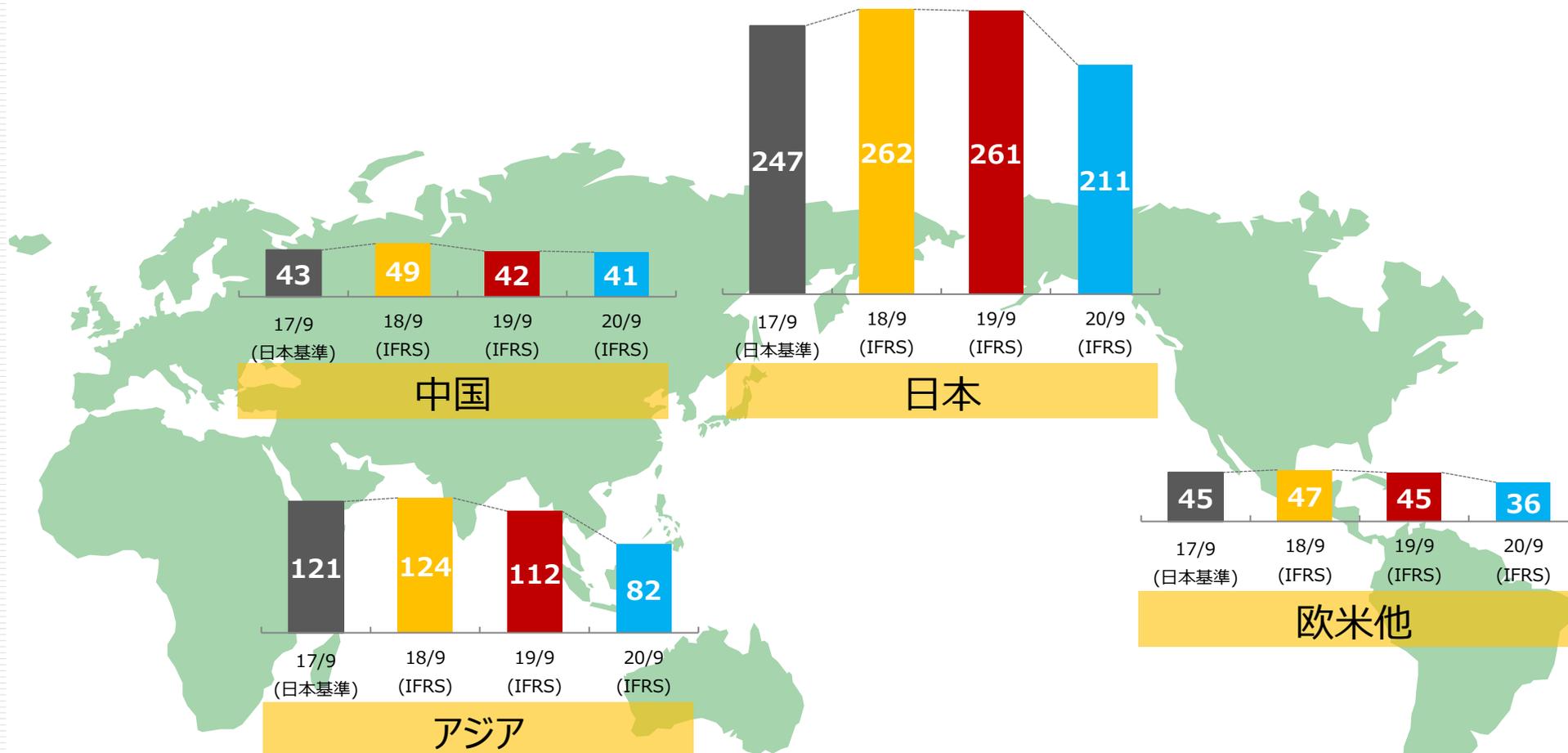


(百万円)

	2019/9	2020/9		2021/3	
	実績	実績	前期比	業績予想値 (11/11公表)	達成率 (対業績予想値)
売上収益	46,234	<b>37,116</b>	△9,117	75,000	49.5%
コア営業利益	2,935	<b>1,325</b>	△1,610	2,500	53.0%
営業利益	2,770	<b>1,436</b>	△1,333	2,500	57.5%
税引前利益	2,597	<b>1,415</b>	△1,182		
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,066	<b>1,028</b>	△1,037	1,500	68.6%

- 売上収益およびコア営業利益は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による景気悪化などの影響を受け、すべての事業において減収減益となった。
- 営業利益および親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年に一時的な損失（リスク分担型企業年金への移行損）を計上した影響により、減益幅が縮小した。

(単位：億円)

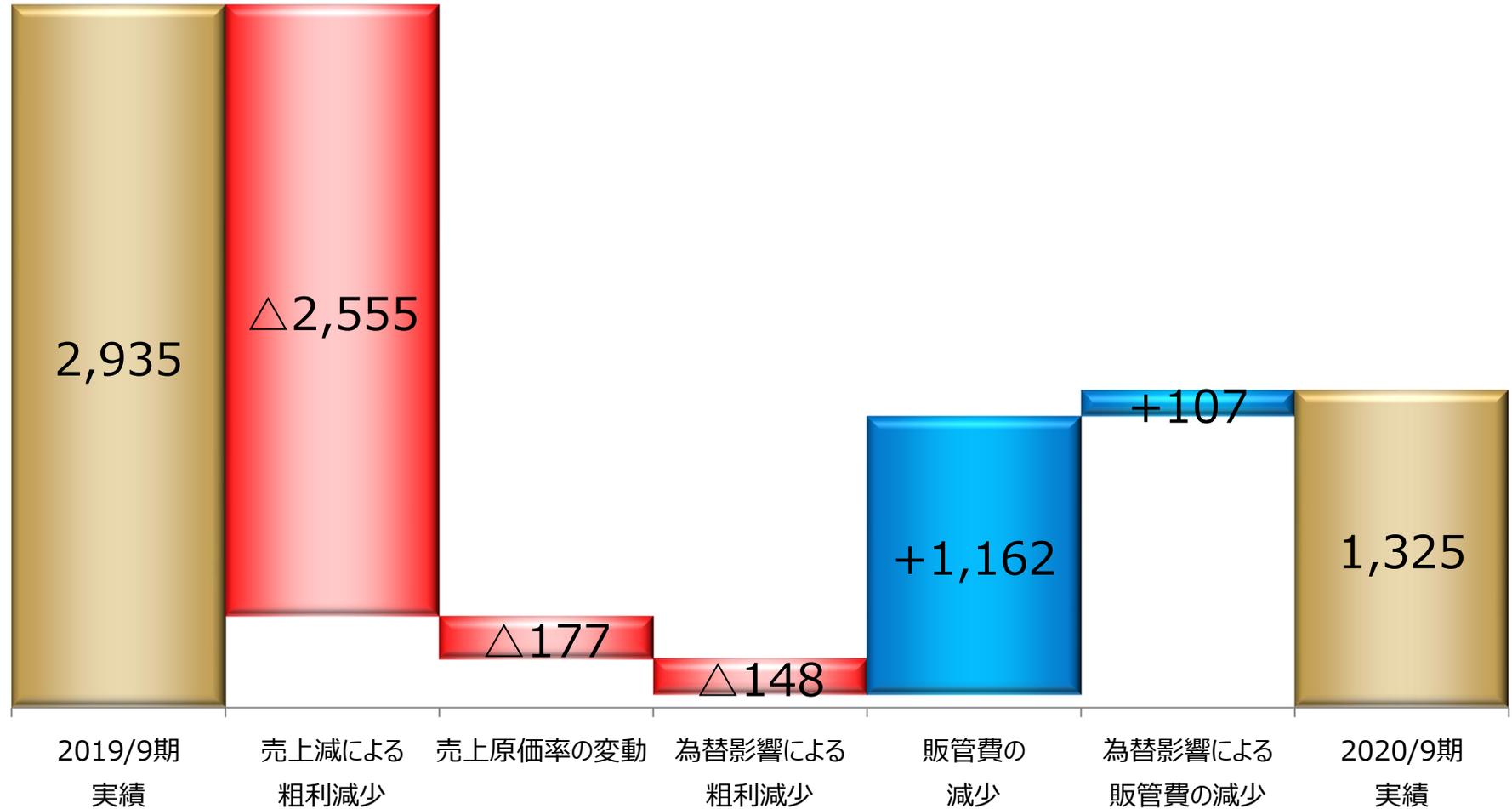


※1 所在地別売上収益は、セグメント間取引消去後

※2 20/9期の中国（香港含む）の売上収益は、自動車部品事業および産業資材事業では増加したものの（P7, 8参照）、高機能エラストマー事業およびその他の事業において減少したため、総額では減収

# 2021年3月期第2四半期 連結コア営業利益 増減分析

(単位：百万円)



# 2021年3月期第2四半期 セグメントの状況



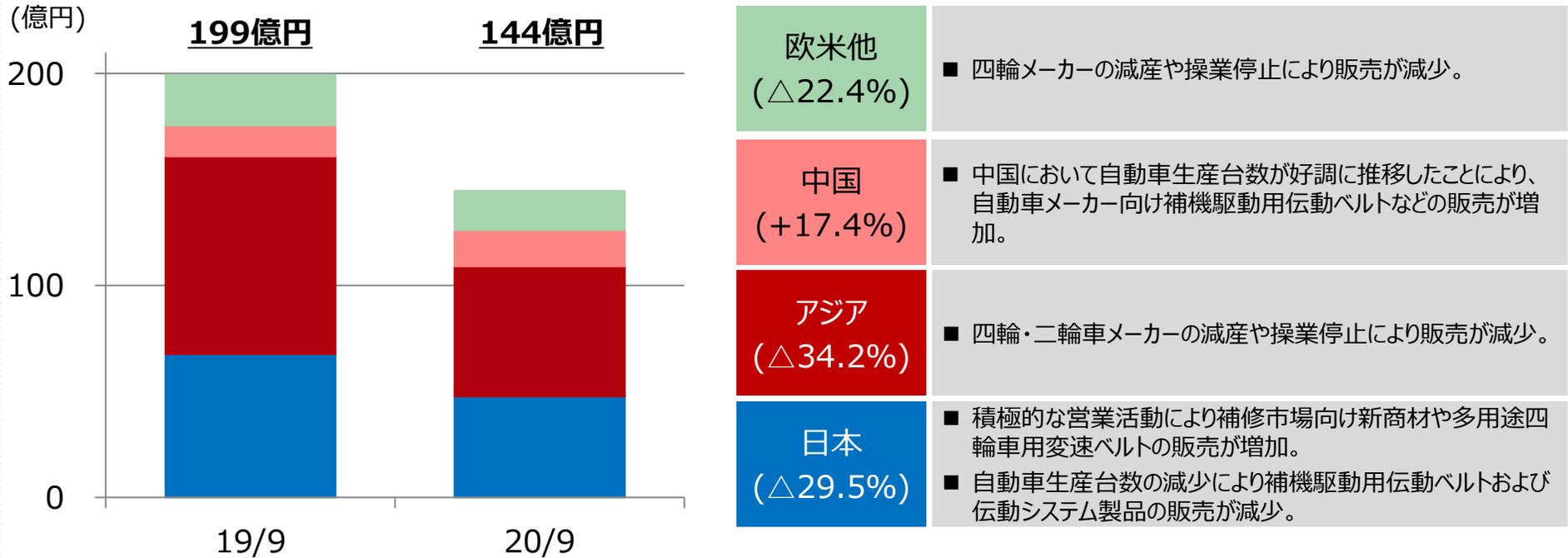
(百万円)

	2019/9	2020/9		
	実績	実績	増減額	増減割合
<b>売上収益</b>	<b>46,234</b>	<b>37,116</b>	<b>△9,117</b>	<b>△19.7%</b>
自動車部品事業	19,972	14,484	△5,487	△27.5%
産業資材事業	17,015	15,203	△1,812	△10.7%
高機能エラストマー製品事業	7,023	5,485	△1,537	△21.9%
その他	2,570	2,481	△88	△3.5%
セグメント間消去	△347	△538	△191	—
<b>コア営業利益</b>	<b>2,935</b>	<b>1,325</b>	<b>△1,610</b>	<b>△54.9%</b>
自動車部品事業	1,130	198	△932	△82.4%
産業資材事業	1,252	1,081	△170	△13.6%
高機能エラストマー製品事業	213	△359	△572	—
その他	227	143	△83	△36.9%
セグメント間消去等	112	261	+149	+132.7%

# 自動車部品事業 概要



## 所在地別売上収益

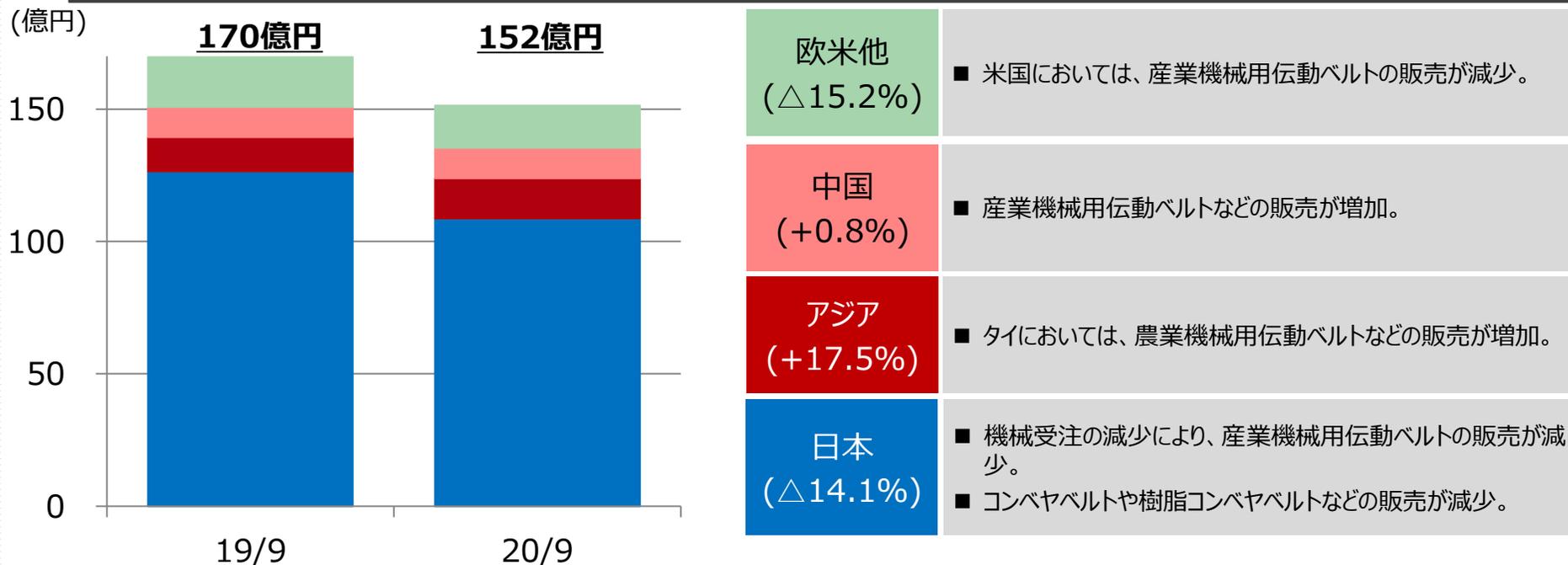


## コア営業利益

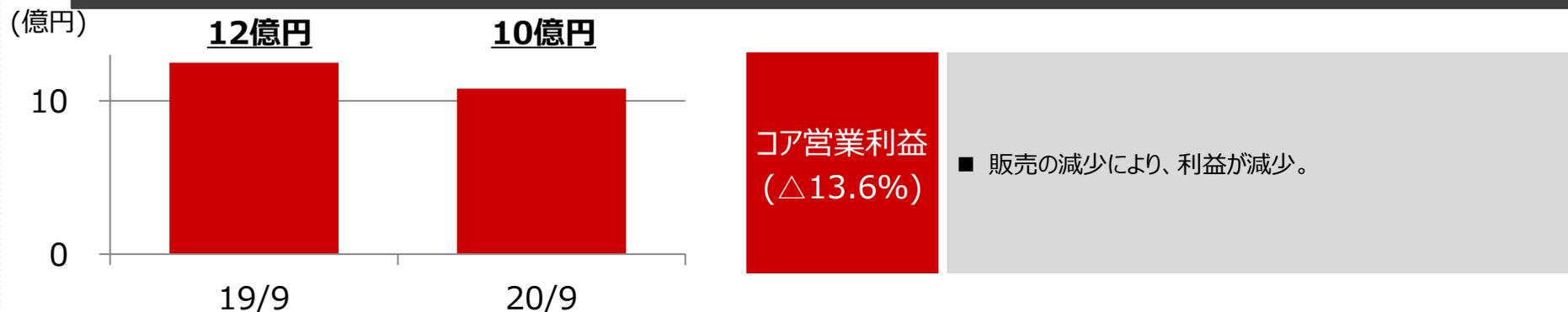


# 産業資材事業 概要

## 所在地別売上収益

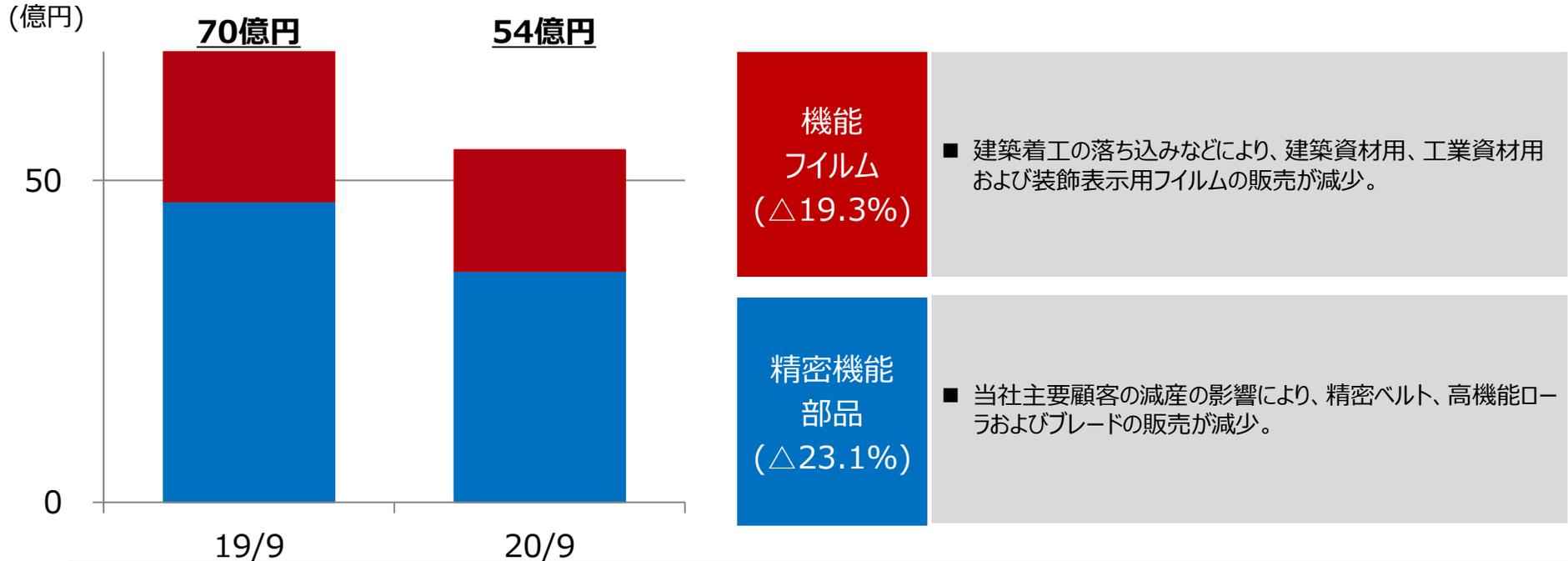


## コア営業利益



# 高機能エラストマー製品事業 概要

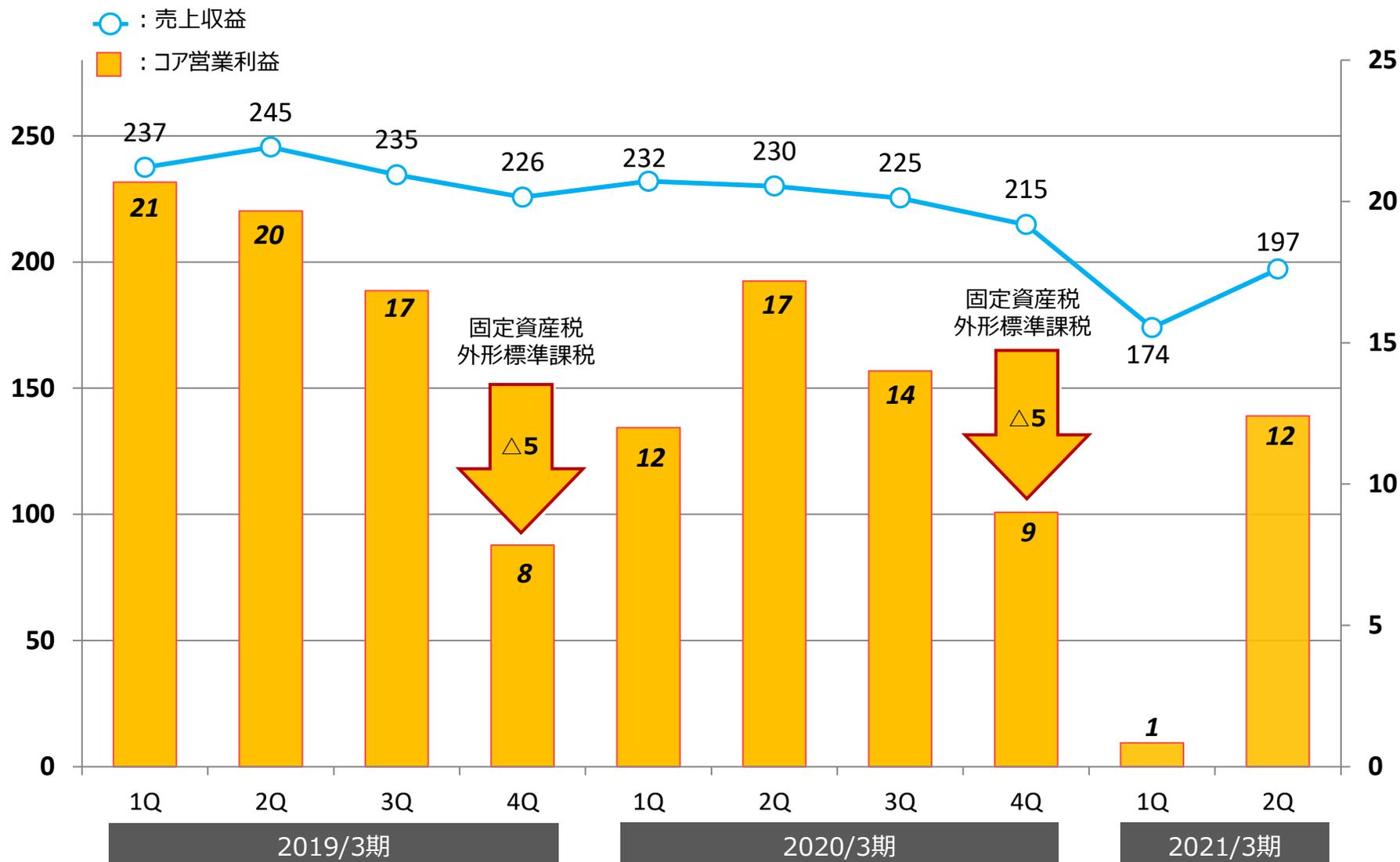
## 事業別売上収益



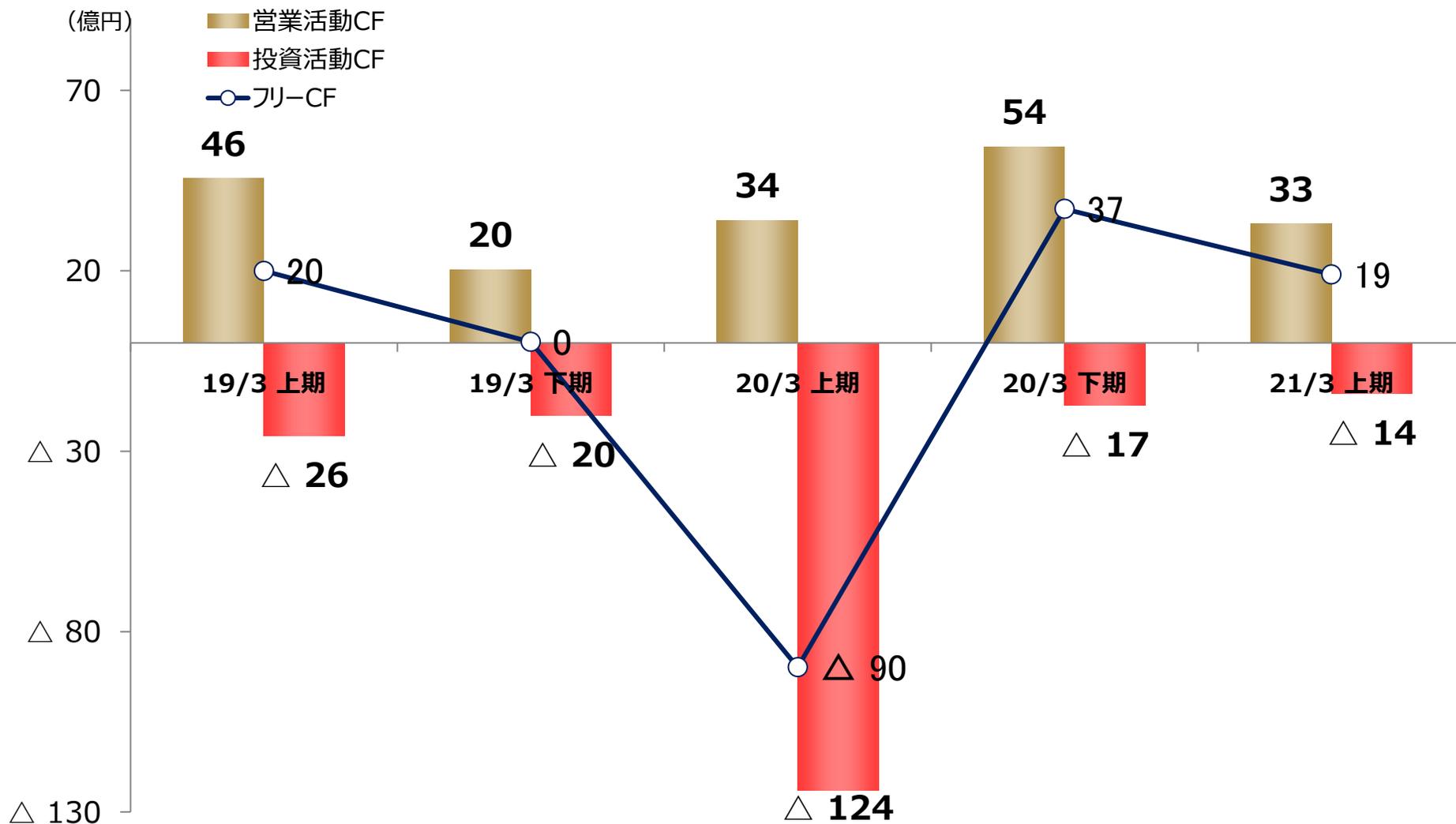
## コア営業利益



# 四半期推移 (売上収益/コア営業利益)



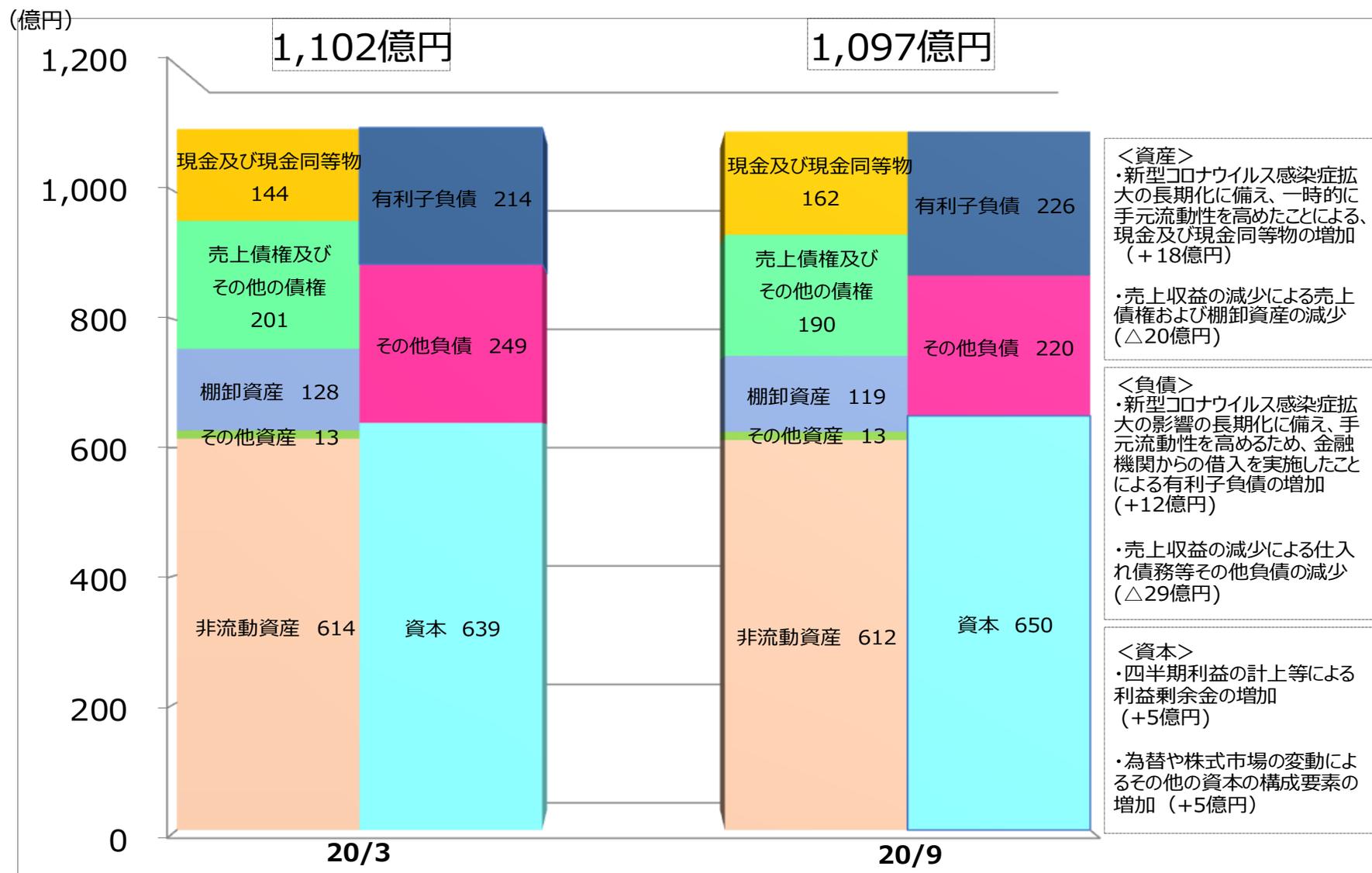
# キャッシュフローの推移

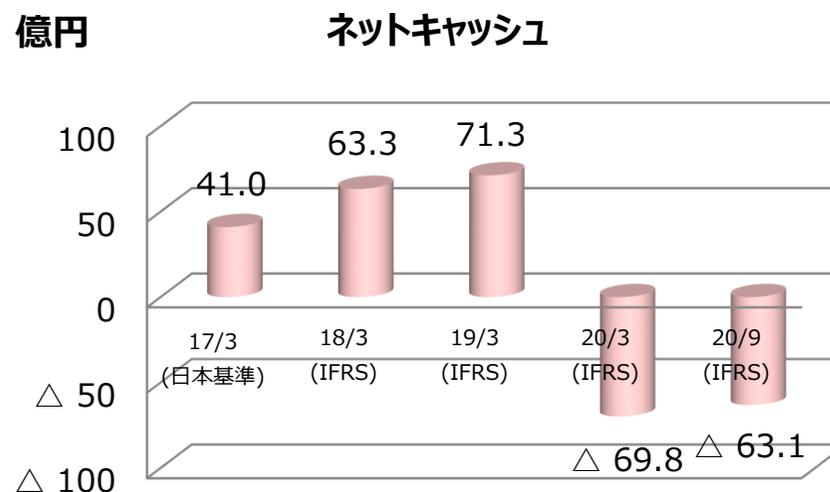
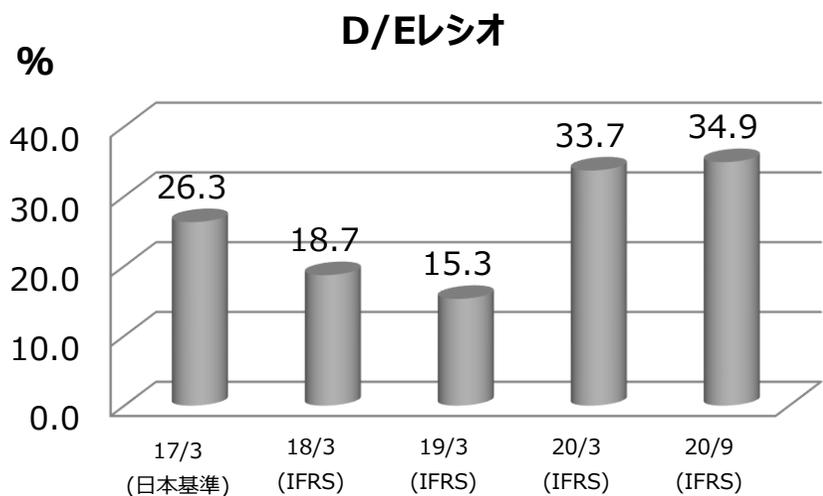
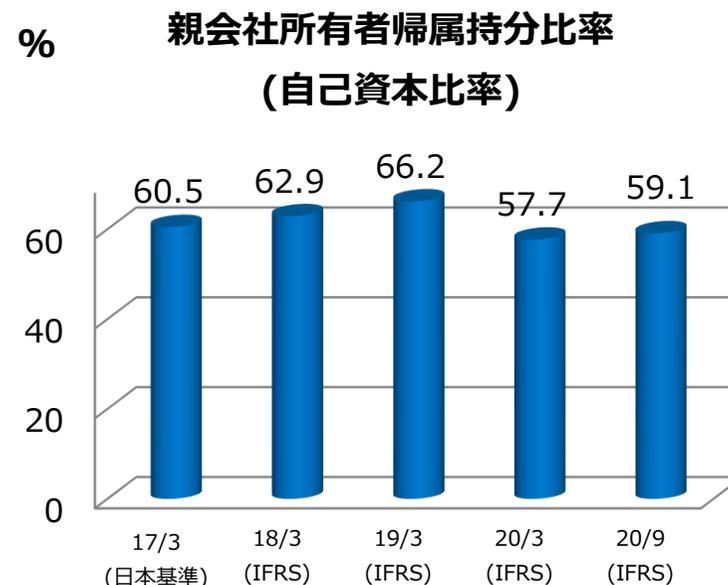
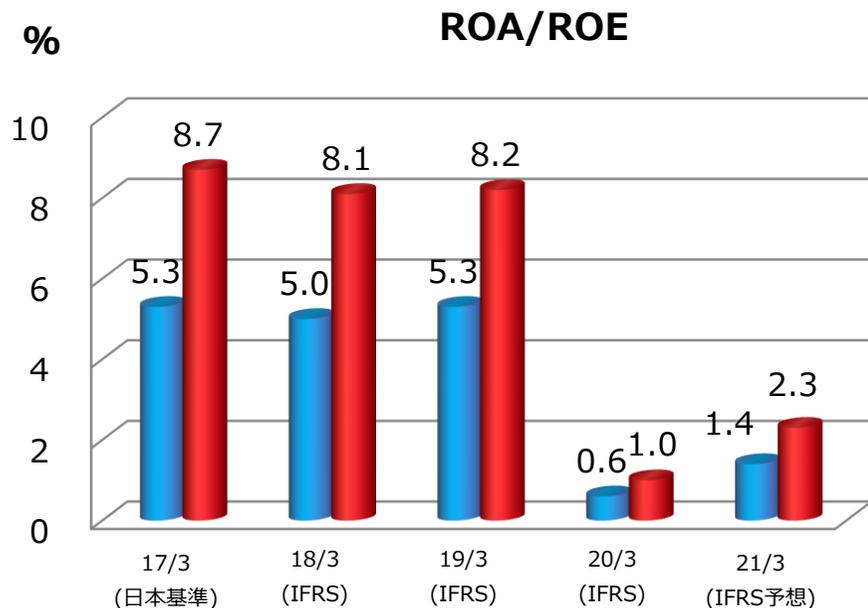


※1 19/3下期の営業活動によるCFは、下請法運用基準見直し対応による現金支払の増加により、14億円減少しております。

※2 20/3上期の投資活動によるCFには、株式会社Aimedica MMTの株式取得による支出（92億円）が含まれております。

# 連結財政状態計算書





# 主なトピックス

2020年

4月・伝動ベルトおよびプーリの価格改定

5月・光半導体向け「FlowMetal®」を販売開始

7月・医療機器製造業の登録完了

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に関する社会貢献  
ー「飛沫感染防止用透明PVCフィルム」を寄贈ー

- ・食品業界向け特設サイト「BANDO SHOWROOM」を開設

8月・食品用非付着性ベルト「ミスターシルキータッチ™」を販売開始

- ・建装材用薄膜ポリエチレンフィルム「テクリア®EGS-T」を販売開始

- ・NEDO事業「炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー(CNF)関連技術開発」に採択  
ー「伝動ベルトをターゲットとしたCNF複合化クロロプレンゴムの低コスト製造技術開発」を推進ー



銀ナノ粒子接合材  
「FlowMetal®」



事務所の受付などで使用される  
「飛沫感染防止用透明PVCフィルム」



食品業界向け特設サイト「BANDO SHOWROOM」



食品用非付着性ベルト  
「ミスターシルキータッチ™」(左)



建装材用薄膜ポリエチレンフィルム  
「テクリア®EGS-T」

---

## Ⅱ. 2021年3月期 業績予想

# 2021年3月期 業績予想

(百万円、%)

	2020/3 実績	2021/3 予想			
		修正前	修正後	前期比(修正後)	
売上収益	90,247	75,000	75,000	△15,247	△16.9%
コア営業利益	5,252	2,000	2,500	△2,752	△52.4%
営業利益	2,056	2,000	2,500	+443	+21.5%
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	682	1,000	1,500	+817	+119.7%

為替レート	USD	108.93	107.35	105.65		
	THB	3.51	3.39	3.34		
	人民元	15.59	15.11	15.00		

- 新型コロナウイルス感染拡大が依然として国内外経済に大きく影響を与えておりますが、持ち直しの傾向にあることおよび第2四半期までの実績を踏まえ、修正することといたしました。

# Withコロナにおける当社の対応

## □ 収益力の強化

- 国内営業所の集約、固定的費用の見直しによる経費削減。
- 拡販戦略への積極対応、収益源の多様化。
- 最適生産分担の明確化、生産ラインの革新。

## □ 新製品投入の継続

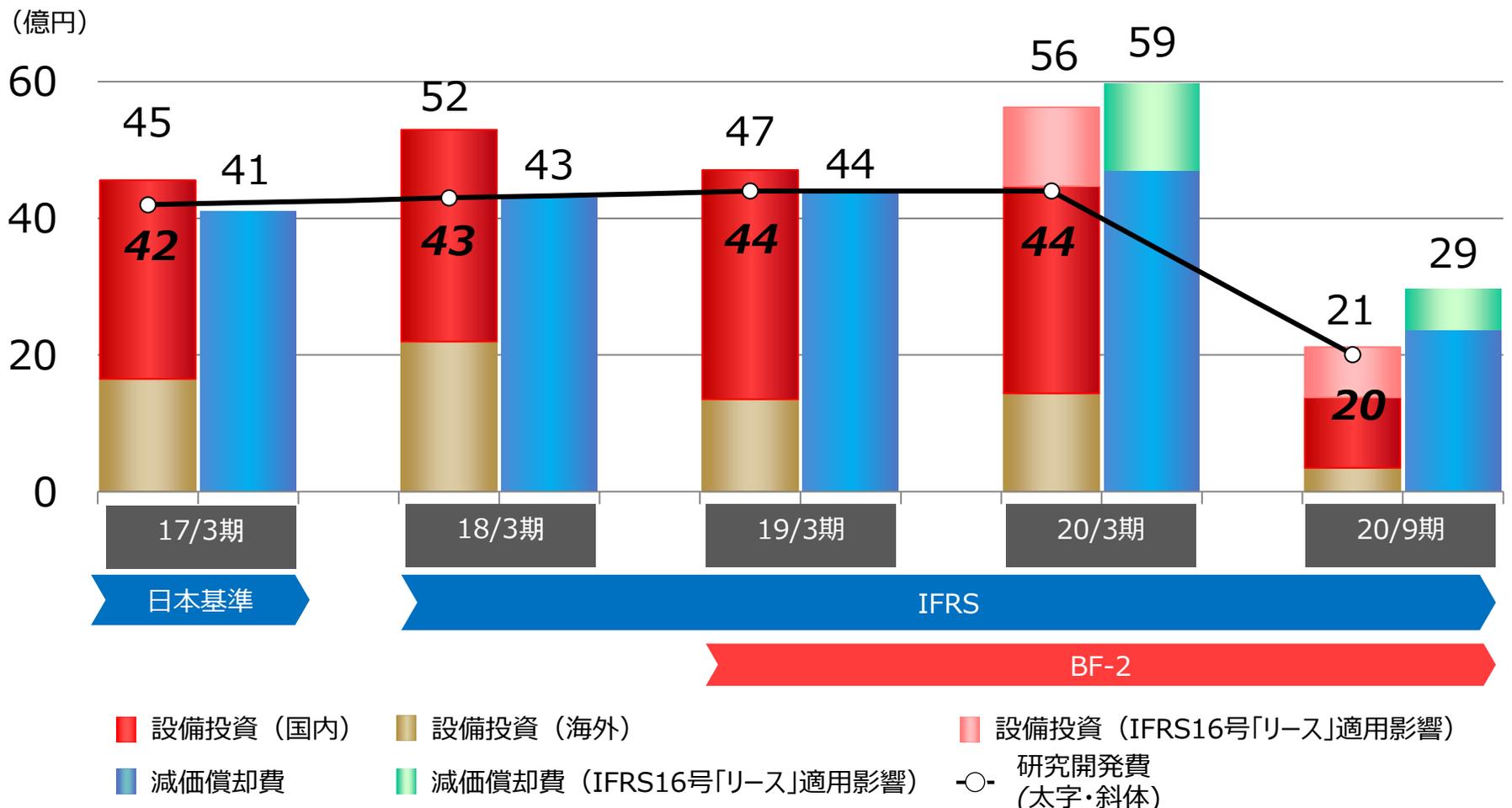
- 新製品の開発、市場投入に必要な経営資源は優先的に配分。

## □ デジタルマーケティングの拡充



# 設備投資額、減価償却費および研究開発費の推移

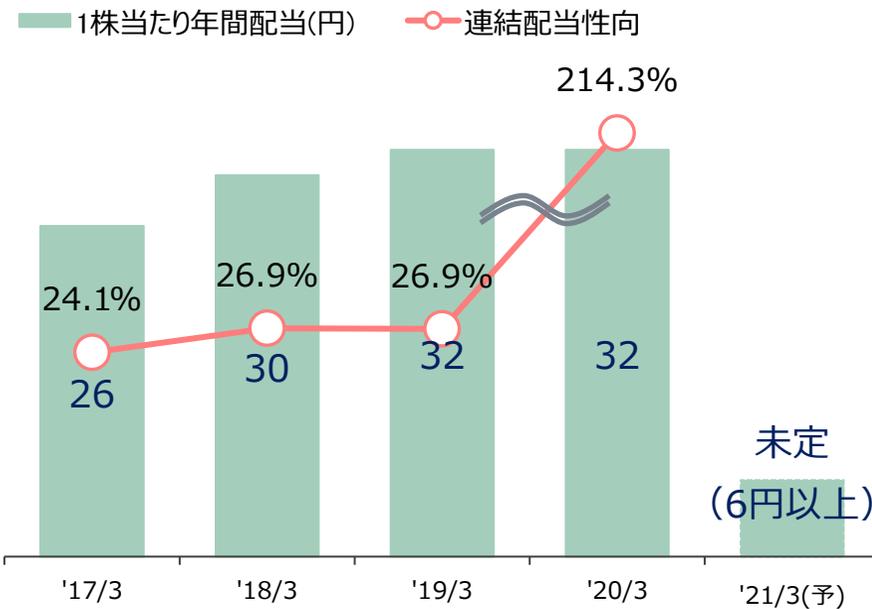
新型コロナウイルス感染拡大を受け、設備投資時期を再検討  
 厳しい環境下でも、将来に向けた研究開発を積極的に実施



# 株主還元

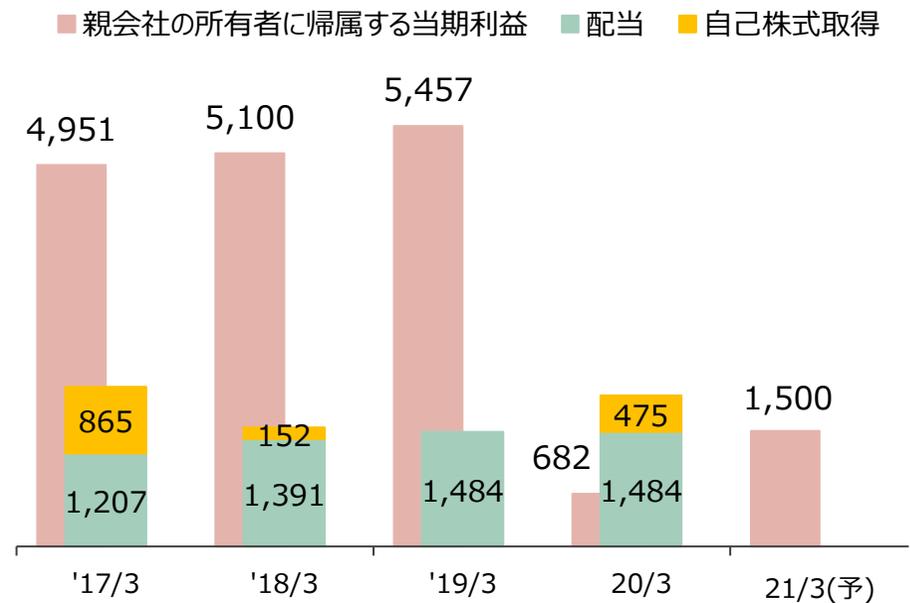
業績予想に基づき、2021年3月期の1株当たり中間配当を6円とし、  
 期末配当予想については、引き続き未定

1株当たり年間配当・連結配当性向の推移



株主総還元の推移

(単位：百万円)



## 基本方針

収益および財務状況を配慮しつつ、当面の連結配当性向は30%を目処に安定した利益配当を行うことを目標とし、利益還元の充実に努める

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。